



2023年2月20日

株式会社設備保全総合研究所

国立大学法人横浜国立大学

「2023 年度中堅・小規模プラントの現場 DX 推進に関する研究会」

参加企業様募集のお知らせ（設備保全総合研究所と横浜国立大学との共同運営）

設備保全総合研究所（代表取締役 相原章吾 / 上野将平）と、横浜国立大学先端科学高等研究院リスク共生社会創造センター（センター長 澁谷忠弘）は、「中堅・小規模プラントの現場 DX 推進に関する研究会」を共同運営することを決定いたしました。当研究会では、専属のリスク分析チームを持たない中堅・小規模企業様でも、プラント現場における DX/新技術導入を円滑に進めて頂くことを目指し、下記取組みを進めて参ります。

なお当研究会は、主にプラント現場 DX の推進にご関心のある設備オーナー企業様及び、サプライヤー様を対象としております。研究会へのご参加希望、ご質問等ございましたら下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

「中堅・小規模プラントの現場 DX 推進に関する研究会」の実施計画

2023 年度は、プラント設備の DX 推進/新技術導入に向けて最大の障壁である防爆エリア規格に関する勉強会並びに各種提言内容の取りまとめを行います。

また、次年度（2024 年度）以降は、防爆ガイドラインの中小規模の企業様における幅広い活用を目指し、具体的ツール類を開発するとともに、DX 推進で悩みを抱える各企業様を繋ぎ・協創の場となるコンソーシアム設立を想定しております。

実施年度	サブタイトル	活動内容
2023 年度 (募集対象)	現場 DX 推進における課題と防爆規格の現在地	✓ グローバル最新規格の解説（IEC3.0）と各種ケーススタディを交えた勉強会実施 ✓ 中堅・小規模プラント現場における電子機器活用促進の課題整理 / 推進に向けた各種提言取り纏め
2024- 2025 年度 (予定)	防爆指針の現場実装と普及拡大	✓ DX を推進する企業様を対象としたコンソーシアムの設立と運営 ✓ 防爆エリア精緻化検討業務を効率化するための具体的デジタルツール類の開発・利活用

募集要項

・募集期間：2023 年 3 月 31 日迄

・対象企業：プラント業界関係企業様（設備オーナー、エンジニアリング、サプライヤー等）

お問い合わせ先

株式会社設備保全総合研究所 共同研究事務室宛 research@em-labo.co.jp

横浜国立大学先端科学高等研究院リスク共生社会創造センター事務室 risk.center@ynu.ac.jp

株式会社設備保全総合研究所の概要

株式会社設備保全総合研究所は、独立系メンテナンス会社である株式会社マイスターエンジニアリングからスピノフしたメンテナンス・テック・カンパニーです。プラント保全に特化したクラウド型 Web アプリケーションの開発や、プラントユーザーの DX 支援を行っております。

横浜国立大学先端科学高等研究院リスク共生社会創造センターの概要

リスク共生社会創造センターは、本学で創出したリスク共生の理念を実現するために、先端高等研究院をはじめとする本学の最先端の研究成果を社会に実装するための研究・活動を行っています。本センターが目指すリスク共生社会とは、安全・安心の実現と共に、活力のある社会であり、その社会実装を実現するため、社会としてのリスク共生の在り方を模索しています。

[リリース元] 株式会社設備保全総合研究所: URL <https://em-labo.co.jp/>

代表取締役 相原章吾 / 上野将平

横浜国立大学先端科学高等研究院リスク共生社会創造センター:

URL <https://www.anshin.ynu.ac.jp>

センター長 澁谷忠弘